

令和5年度在宅医療エキスパート薬剤師人材育成セミナー実施要領

超高齢化社会に向けて、医療の拠点は病院等の医療施設のみならず、「在宅」も選択肢の一つとして更なる充実が求められています。また、かかりつけ薬局及び薬剤師は、在宅医療を始めとする地域包括ケアシステムの中で多職種との連携を図りながら、地域住民の健康長寿の延伸に取り組むことが期待されています。

一方、在宅療養にはさまざまな医療機器や医療材料等が必要となるため、患者やその家族は、医療機器や衛生材料の適切な使い方や注意点を理解しないと、安心して療養生活を送ることができません。そのため、在宅医療に関わるスタッフが適切なアドバイスをしたり、実際に対処できることが求められます。

こうした背景を踏まえ、今後必要となる医療機器及び医療材料に関する知識を習得し、シミュレーターを用いたシナリオトレーニングを通して、フィジカルアセスメント[※]に関する理解を深めていただくことが本セミナーの目的です。

※フィジカルアセスメントとは、脈拍、血圧、呼吸、体温などのバイタルサインを中心に、患者の情報を集め、分析し、患者にあったケアを考察することをいいます。

1 日 時

第1回 令和6年2月10日（土） 10：00～15：30

第2回 令和6年2月17日（土） " "

第3回 令和6年2月18日（日） " "

※いずれの回も同一のプログラムです。ご都合の良い日時にお申し込みください。

2 場 所

ふくしま医療機器開発支援センター 2階 研修室（郡山市富田町字満水田27番8）

※ご来所にあたってのルート詳細は、以下のホームページをご覧ください。

（URL： <https://fmddsc.jp/access/> ）

3 主 催

福島県

4 後 援（予定）

（公社）福島県歯科医師会、（一社）福島県薬剤師会、

（公社）福島県看護協会、（一社）福島県病院協会、

（一社）福島県訪問看護連絡協議会

5 対 象

薬局、医療機関に勤務している薬剤師

※在宅医療の経験の有無は問いませんので、初任者・興味のある方はぜひ御参加ください。

6 定 員

各回30名程度

※参加希望者多数の場合は、参加者の調整をさせていただく可能性があります。

また、参加希望者多数の場合は、これまでのセミナー未受講者を優先とします。

7 参加費

無 料

8 申込み方法

Webサイト「福島県 かんたん申請・申込システム」にてお申し込みください。

（URL： <https://www.task-asp.net/cu/lar070009/pc/Lar00000/Lar00001.aspx> ）

（参考）Web検索サービスにて、「福島県 かんたん申請」と検索いただくと、検索結果に「ふくしま県市町村共同電子申請システム 団体選択 - 福島県」と表示されますのでクリックいただいた後、ページ内で「県：福島県」をクリックいただきますと申込画面に切り替わります。

申請・申込書名：令和5年度在宅医療エキスパート薬剤師人材育成セミナー参加申込
を選択してください。

(参考) 「福島県 かんたん申請・申込システム」のトップ画面上部の「■申請・申込書の検索」機能にて、例えば「エキスパート」と検索すると引き当てが容易です。

9 プログラム (予定)

- (1) 挨拶
- (2) プログラム説明
- (3) 自己紹介
- (4) 本県における在宅医療の現状と課題～薬剤師に期待すること～ (45分)
講師 ほし横塚クリニック 院長、家庭医療専門医 星 吾朗氏
- (5) 災害時における在宅医療に関わる薬剤師の役割、
薬局における医療・衛生材料の取り扱いについて (60分)
講師 奥羽大学薬学部 准教授 松木 友治氏
- (6) フィジカルアセスメントに必要な基本的手技の習得 (40分)
聴診器の使用法 (心音・呼吸音・腹部の聴診、聴診部位の理解)
血糖測定、血圧測定、脈拍測定、SPO₂測定等
講師 (一社) 福島県訪問看護連絡協議会
- (7) フィジカルアセスメントの実践スキルトレーニング (90分)
生体シミュレータ (フィジコ 2台、SimMan 3G 1台)
演習ファシリテーター 奥羽大学薬学部 教授 木皿 重樹氏 (2月10日)
准教授 大原 宏司氏 (2月17日)
教授 中川 直人氏 (2月18日)
(一社) 福島県訪問看護連絡協議会
(一社) 福島県薬剤師会地域包括ケアシステム推進委員会
- (8) 閉会

10 その他

後日、研修受講証明書を交付します。
若干プログラム内容が変更となる場合があります。
会場付近に飲食店等がないため、昼食の準備をお願いいたします。

担当：福島県保健福祉部薬務課 木村
電話 024-521-7233
メール yakumu@pref.fukushima.lg.jp

10:00～10:15 挨拶、プログラム説明、自己紹介（15分）

10:15～11:00 本県における在宅医療の現状と課題～薬剤師に期待すること～（45分）

講師 ほし横塚クリニック 家庭医療専門医 星 吾朗氏

11:00～12:00 災害時における在宅医療に関わる薬剤師の役割、薬局における医療・衛生材料の
取り扱いについて（60分）

講師 奥羽大学薬学部 准教授 松木 友治氏

12:00～13:00 昼食（60分）

13:00～13:40 フィジカルアセスメントに必要な基本的手技の習得（40分）

聴診器の使用法（心音・呼吸音・腹部の聴診、聴診部位の理解）
血糖測定、血圧測定、脈拍測定、SPO₂測定

（13:40～13:50 部屋の移動）

13:50～15:20

フィジカルアセスメントの実践スキルトレーニング（90分）

生体シミュレータ（フィジコ 2台、SimMam 3 G 1台）

（15:20～15:30 部屋の移動）

15:30 閉会